



「花かわいいね♪」



ハナサクサクラ

(二十間道路桜並木) 2000本を超えるサククラは、4月24日に開花し、30日に満開を迎え、今年も見事な花を咲かせました。

第58回「しずない桜まつり」開催

開会式やステージイベントは行わないなど、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえ、4月30日から5月5日にかけて、「しずない桜まつり」が開催されました。



二十間道路桜並木は、「日本の道百選」「さくら名所100選」「北海道遺産」などに選ばれており、その歴史は明治時代にさかのぼります。当時、宮内省所管であった新冠御料牧場を南北に縦断する道路として造られ、幅二十間(36m)、直線7kmという雄大なこの道は、いつからか「二十間道路」と呼ばれるようになりました。大正5年より約3年の歳月をかけて近隣の山々から移植された桜の多くは、ゆうに樹齢100年を超えており、まちの宝として大切に守り継いでいます。



4月30日満開時の二十間道路桜並木



4月26日降雪時の二十間道路桜並木



「花のトンネル内」などでは、手指の消毒のほか、一方通行や飲食禁止、ごみの持ち帰りなどの協力を呼びかける感染対策が行われました。

